



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「聖地旅行」その⑦

今日は聖地旅行の中日、五日目だ。昨晩から死海の畔に立つホテルに泊まっている。ホテルのビーチは朝の七時からオープンする。それは監視人が見張り台に就く時間なのだ。それまで待てなかった僕は、まだ暗がりの中、そこから少し外れたビーチで一人泳ぐことにした。同室の稲野先生はとっくに湖に入って祈っている。僕はそこでどれくらい浮力があるのか試してみたかったのだ。

かつて僕は学生の頃にソルトレークで泳いだことがある。そこは海水の七、八倍の濃度がある。大陸横断バスの途中でのことで、海パンすら持つてはいなかった。だが、興味本位から観光客が皆バスに戻るのを見計らって、パンツ一つになって入ったのだ。その浮力の大きかったこと。手を広げてでもその浮力の大きさを簡単にヒックリ返ってしまうのだ。すぐにバスに戻ったのだが、腕や頭からは乾いた塩の固まりが絶え間なく落ちてきて困りはてたことがある。

死海で両手両足を大の字に広げると見事に浮く。海水の十倍の塩分濃度なので、どんなかなづちでも新聞を広げて読めるほどだ。あまりに塩分が濃いのでそれが湖底に沈殿していて刺々しく、とてもはだして歩けない。これを飲んだら命に関わる。実際にそれで死んだ人もいると聞く。稲野先生はかなり沖合いまで行つたので、「もう少しでヨルダン領に入るのはないかと思つたよ。パスポートを持つて行くんだ」と冗談を飛ばしていたが、対岸はヨルダン領だ。

さて、死海の水の浸透圧はとても強いので十分以上入っていると危険である。脱水症になるのだ。稲野先生はそこに一時間半も入っていた。それでも何ともなかったというのだから超人である。かつて同僚の鍵和田哲男牧師は一人泳いでいた時に、五十分ばかり死海に浸かっていたので、上がった途端に気分が悪くなり、本気で死ぬかと思つたと語つたことがある(水に浸かるのは十分以内で、いったん水から出てシャワーを浴び、水分補給をして十五分ほど経つてから再度入るという方法で何回でも入ることができる)。実は帰国の二週間後に死海で日本人旅行者が死んだと聞いた。その死因が何であつたのかは不明であるが、もし、そのような事故が私たちの中に起きていたらと思うと身震いがした。

箴言に「あなたの羊の状態をよく知り、あなたの群れに心をとめよ」(二十七・23)とある。一行の状況をよく知り、不測の事態に備えて死海の危険性を事前に忠告しておけば後で悔いることもなかったのに。今回の旅行で一番反省させられた出来事であつたが、何よりも無事だつたことを主に感謝した(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

